

国家公務員制度担当大臣と公務員労働組合連絡会とのやりとり（概要）

日 時 平成31年2月19日（火）15:30 ～ 15:35
場 所 合同庁舎8号館 共用会議室
出席者 先方）柴山議長 外12名程度
当方）宮腰国家公務員制度担当大臣 外5名
案 件 春闘期要求書の受取り

公務員連絡会

東日本大震災、熊本地震からの復興・再生の取組が進められるなか、昨年も、日本各地で地震や豪雨などの自然災害が多発している。国民の安全、安心の確保や被災者への対応が、最優先課題であることを改めて肝に銘じ、公務部門の労働組合としても、それぞれの職場で全力を尽くしていく。宮腰大臣におかれては、職員が安心して仕事に打ち込めるよう、勤務環境の一層の改善に最大限努力していただきたい。

今般、厚生労働省の毎月勤労統計や賃金構造統計を始めとする国の基幹統計調査における不適切な処理が発覚し、行政に対する信頼を大きく損なう事態となっていることは、極めて残念であり遺憾である。国民の信頼を回復するため、ともに努力しなければならないと考える。

公務員連絡会は、連合が2019春季生活闘争方針で提起する「底上げ・底支え」「格差是正」と「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現に向けて取組を進めている。特に、長時間労働の是正は最重点の課題である。国家公務員の超過勤務の上限時間について法令である人事院規則に定められ、4月から施行される。職場を熟知する労働組合の立場で、超過勤務の縮減に向けて現場からの取組を進めていくが、政府においても、実効性のある施策を強力に推進するよう強く求めておく。

また、公務員の段階的定年引上げについては、我々との十分な交渉・協議と合意のもとに作業を進め、「着実かつ確実な早期実施」の実現に努力していただきたい。

障害者雇用問題については、国民・住民の信託を受けて行政を執行する国および自治体の行為として断じて許されないものであり、組合側としても責任を痛感している。今後は、関係閣僚会議において決定された再発防止及び速やかな法定雇用率の達成等の取組に対して、関係構成組織とともに全面的な協力と努力をはかっていく。

職員は災害への対応をはじめ、それぞれの持ち場で日夜自らの職務に全力を尽くしている。良質な公共サービスの実現に向けて、それを支える適正な賃金・労働条件と人員の確保が重要だ。

宮腰大臣におかれては、以上申し上げたことも含めて、職員が国民の期待に応えるために生きがいを持って働くことのできる職場となるよう、要求事項を実現して頂きたい。これから、事務レベルでの交渉を積み重ね、3月20日には、国家公務員の人事行政に責任を持つ大臣から直接春の段階の誠意ある回答を求める。

国家公務員制度担当大臣

公務員の方々が国民全体のために献身的に職務に当たられていることに対し、敬意を表する。ただいま、要求書を受け取り、要旨は承った。各要求事項については、検討の上、しかるべき時期に回答させていただく。

公務員連絡会

要求事項は多岐にわたるが、切実なものであるので、よろしく願いしたい。

－ 以 上 －

文責：内閣官房内閣人事局（先方の発言については未確認）